

かんちゃん通信

令和2年2月14日(金)発行 文責：林 寛

～サッカー教室～

12日(水)に附属中学校の体育館をお借りして、Vファーレン長崎の指導者の方2名に来ていただき、年長児対象にサッカー教室を行いました。

まず、指導者の方は年間100回以上、このサッカー教室を開催しているというお話がありましたが、とても幼児への指導に慣れておられ、子どもたちは楽しく活動することができました。

アップを兼ねた遊び感覚の運動に始まり、最後は、学級の子どもたち全員で2個のボールをゴールに入れる試合形式のゲームを行いました。ボールを追いかけて走り続ける子どもたちは、汗びっしょりになっていました。私にとっては、2人のコーチの指導も参考になりました。「今は、どうすべきか」「さっきは、どうすればよかったのか」常に子供たちに考えさせる場面を与えていました。幼い子どもだから指示通りに動かす、ということではなく、子どもに考えさせて自ら動く習慣付けをさせようという意図が垣間見えました。

これをきっかけに、サッカーに興味をもって遊びに加わる子どもが増えてくれると嬉しいです。



～子ども会～

5日(水)に年長さんが「子ども会」を行いました。本園の子ども会は、子どもたちが自分たちで作り上げる会で、「見た目重視」ではありません。敢えて言うなら、「過程重視」の子ども会です。自分たちですることを考え、観る人を意識しながら、その過程で様々なことを学んでいきます。

来週は、年中・年少の子ども会も行われます。保護者の皆様も、どうぞお楽しみください。

